

# 「プリンタ制御ソフトウェア」のバージョンアップ方法

「CASIO SPEEDIA」シリーズにおいて、プリンタ制御ソフトウェアのバージョンアップを行うためには、「バージョンアップツール」が必要となります。

ここでは、プリンタ制御ソフトウェアのバージョンアップ方法について説明します。

《注意》対応機種：CASIO SPEEDIA GE6000、CASIO SPEEDIA GE5000、CASIO SPEEDIA N3600、CASIO SPEEDIA N3500、CASIO SPEEDIA N3000、CASIO SPEEDIA N6100、CASIO SPEEDIA N6000、CASIO SPEEDIA N5300、CASIO SPEEDIA N5100、CASIO SPEEDIA N5II、CASIO SPEEDIA N5、CASIO SPEEDIA N4-614、CASIO SPEEDIA CP-E8500、CASIO SPEEDIA CP-E8000  
(以下、「CASIO SPEEDIA」を省略させていただく場合があります。)

対応インターフェイス：標準セントロニクスインターフェイス、※<sup>1</sup>

標準 LAN インターフェイス、※<sup>2</sup>

拡張 LAN インターフェイス、※<sup>1</sup>

USB インターフェイス※<sup>3</sup>

(※<sup>1</sup>) GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000、N6100 を除く

(※<sup>2</sup>) GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000、N6100 のみ対応

(※<sup>3</sup>) GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000、N6100、N6000、N5300、N5100、CP-E8500 のみ対応

推奨プリンタケーブル：CP-CA554 (DOS/V 仕様機用) ※GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000、N6100 を除く

CP-UC1284B (USB パラレル変換ケーブル) ※GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000、N6100 を除く

CP-CAUSB (USB ケーブル) ※N5 II、N5、N4-614、CP-E8000 を除く

## ＜バージョンアップを行う前の注意事項＞

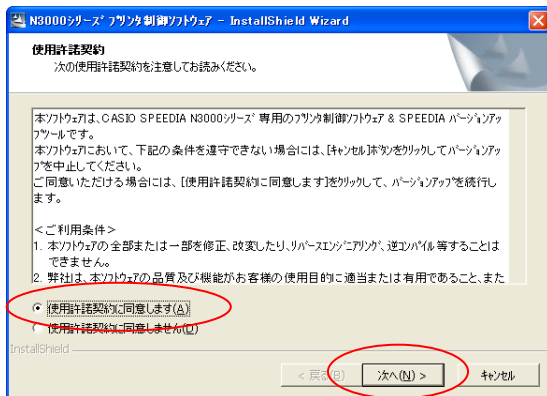
プリンタ制御ソフトウェアのバージョンアップを行うと、プリンタの操作パネルで設定された項目が初期化されることがあります。

設定を初期値から変更している場合には、あらかじめ「ステータスシート」を印刷して、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

※「ステータスシート」は、プリンタ本体の「オンライン」ボタンを押しながら電源スイッチをONにすると印刷されます。

### ①バージョンアップツールを起動します。

ローカルディスク（ハードディスク）に保存した「プリンタ制御ソフトウェア用 exe 形式」のファイルを Windows のエクスプローラ等からダブルクリックすることで起動されます。



### ②使用許諾を確認します。

表示される使用許諾に同意して頂けるならば

【使用許諾契約に同意します】を指定してください。

【次へ】ボタンをクリックするとバージョンアップツールが起動します。



③左図のようなバージョンアップツールが起動します。  
「プリンタ制御ソフトウェア」の欄は自動的に設定されます。

次に「出力先」を指定します。

【Ⅰ. クライアントにバージョンアップ対象機種種のプリンタドライバがインストールされている場合】  
→以降の④→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫→⑬→⑭と進んでください。

【Ⅱ. クライアントにバージョンアップ対象機種種のプリンタドライバがインストールされていない場合】  
→以降の⑤→⑥→⑦→⑧→⑨→⑩→⑪→⑫→⑬→⑭と進んでください。

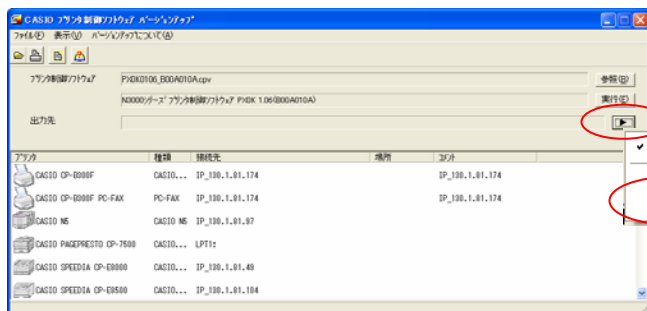


④バージョンアップツールの下段に、システムにインストールされているプリンタの一覧が表示されます。  
バージョンアップを行う機種をリストから選択してください。「出力先」にプリンタリストで選択されたプリンタ名を表示します。

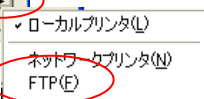
左図では、「CASIO SPEEDIA N3500」を選択しています。

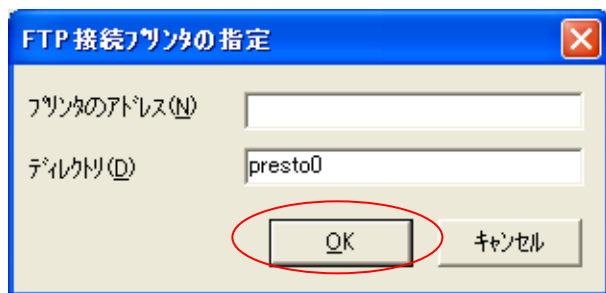
### <注意事項>

- ・「接続先」が「LPT1」、「USB00\*」の場合、パソコンとプリンタがプリンタケーブルでつながっている必要があります。（「USB00\*」の\*には、数字が入ります。）
- ・バージョンアップ対象以外のプリンタは、アイコンがグレー表示されています。
- ・プリンタの接続先がバージョンアップに適切でない場合にもアイコンがグレー表示されます。
- ・プリンタ制御ソフトウェアを指定すると、プリンタ制御ソフトウェアでバージョンアップ対象となっているプリンタ以外のプリンタのアイコンはグレー表示になります。



⑤「出力先」の  をクリックし、「FTP」を選択します。





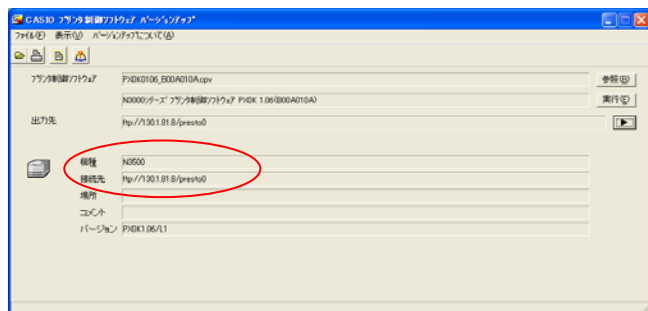
⑥左図のような画面が表示されますので、「プリンタのアドレス」欄に、LANボードのIPアドレスを指定してください。

例) 192.168.1.1

入力後、【OK】をクリックします。

### <注意事項>

- ・「ディレクトリ」欄は、「presto0」のまま、変更しないでください。
- ・FTPプリンタを選択すると、プリンタリストが非表示になります。プリンタリストを表示するには、表示メニューからローカルプリンタを選択してください。
- ・コンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされていない場合、正しく動作しません。

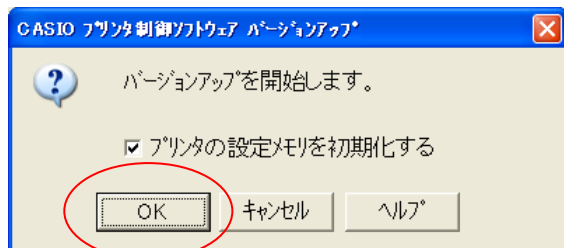


⑦左図のような画面が表示され、「接続先」が指定されます。

【次からはⅠ、Ⅱの場合とも共通操作です。ここでは、Ⅰの例で説明します。】



⑧【実行】をクリックします。



⑨「プリンタの設定メモリを初期化する」の項目を必要に応じて設定し、【OK】をクリックします。

【キャンセル】・・・⑧の画面に戻ります。

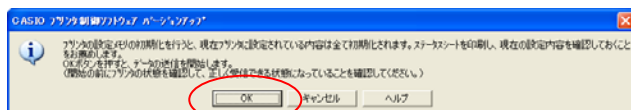
【ヘルプ】・・・「プリンタの設定メモリを初期化する」に対するヘルプを表示します。

### <注意事項>

「プリンタの設定メモリを初期化する」と、プリンタの設定内容が初期化されます。設定を初期値から変更している場合には、あらかじめステータスシートを印刷して、現在の設定内容を確認しておくことをお勧めします。

バージョンアップの実行時、プリンタの設定メモリを初期化しないと、プリンタの再起動後に、「セッティングエラー」の警告が表示されることがあります。この場合には、プリンタの操作パネルで設定初期化を行う必要があります。

■詳細は本ソフトウェアの「ヘルプ」、または各プリンタの取扱説明書をご参照ください。



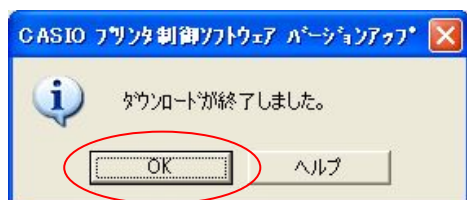
⑩画面に表示されている文章に注意し、【OK】をクリックすると、バージョンアップが開始されます。

【キャンセル】・・・⑨の画面に戻ります。

【ヘルプ】・・・「プリンタの設定メモリを初期化する」に対するヘルプを表示します。

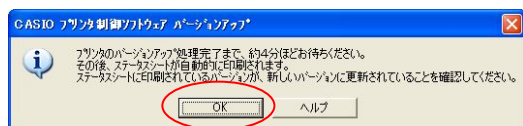


⑪バージョンアップが開始されると、左図のような画面が表示されます。



⑫プリンタ制御ソフトウェアのダウンロードが終了すると、プリンタは受信したプリンタ制御ソフトウェアをチェックして書き込みを行います。

【OK】をクリックすると、次のメッセージ画面が表示されます。



⑬プリンタの書き込みが終了するまで、多少時間がかかります。

書き込み終了後、自動的にプリンタが再起動され、確認用のステータスシートを印刷します。

### <注意事項>

・GE6000、GE5000、N3600、N3500、N3000の場合、プリンタ制御ソフトウェアのバージョンアップが完了するまで、4分程時間がかかります。

※N6100は6分程時間がかかります。

※N6000、N5300、N5100、N5、N511は8分程時間がかかります。

また、バージョンアップの途中でプリンタの電源を切ったりしないでください。

⑭【OK】をクリックして終了します。

プリンタへ印刷されたステータスシートを参照して、バージョンアップが正しく行われたことを確認してください。

以上で、バージョンアップ操作は終了です。